

平成24年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年5月9日

上場会社名 コーアツ工業株式会社  
 コード番号 1743 URL <http://www.koatsuind.co.jp/>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 白石 純孝  
 問合せ先責任者(役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 遠矢 幸一

上場取引所 大証 二部・福証  
 TEL (099) 229-8181

四半期報告書提出予定日 平成24年5月14日  
 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年9月期第2四半期の連結業績 (平成23年10月1日～平成24年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年9月期第2四半期	3,663	△ 4.9	218	△ 24.2	220	△ 24.0	220	△ 57.4
23年9月期第2四半期	3,850	△ 27.8	288	125.6	289	154.5	518	-

(注) 包括利益 24年9月期第2四半期 225百万円 (△57.3%) 23年9月期第2四半期 528百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整 後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年9月期第2四半期	29.12	-
23年9月期第2四半期	68.26	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年9月期第2四半期	10,616	6,105	57.5
23年9月期	10,090	5,917	58.6

(参考) 自己資本 24年9月期第2四半期 6,105百万円 23年9月期 5,917百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年9月期	-	0 00	-	5 00	5 00
24年9月期	-	0 00	-	-	0 00
24年9月期(予想)	-	-	-	5 00	5 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年9月期の連結業績予想 (平成23年10月1日～平成24年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当 期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,661	0.5	126	△ 39.7	102	△ 52.7	91	△ 53.4	12.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式総数（普通株式）

① 期末発行済株式総数（自己株式を含む）	24年9月期2Q	7,600,000 株	23年9月期	7,600,000 株
② 期末自己株式数	24年9月期2Q	10,090 株	23年9月期	10,090 株
③ 期中平均株式数（四半期連結累計期間）	24年9月期2Q	7,589,910 株	23年9月期2Q	7,591,068 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
(4) 追加情報 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(5) セグメント情報等 .....	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災の影響の他、欧州政府債務危機の影響や原油価格の上昇、これらを背景とした海外景気の低迷等、景気が下振れするリスクもあり景気の先行きは不透明な状況で推移しました。

建設業界におきましては、東日本大震災の復旧・復興事業や耐震補強事業等を除けば、公共事業は依然として低水準で推移しており、厳しい受注環境が続いております。

このような中、当社グループ（当社及び連結子会社、以下同じ。）は当期経営基本方針として「全社員一丸となり事業採算性の意識を持った業務により収益性のある企業を目指す。」を掲げ、鋭意努力してまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、36億63百万円と前年同四半期に比し1億87百万円（4.9%減）減少しました。また、経常損益は工事原価の圧縮、販売費及び一般管理費の削減に努めてまいりましたが、経常利益2億20百万円と前年同四半期に比し69百万円（24.0%減）減益となりました。四半期純利益は2億20百万円と関係会社株式売却益の計上があった前年同四半期に比し2億97百万円（57.4%減）減少しました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### a. 建設事業

当第2四半期連結累計期間における建設事業の完成工事高は、29億11百万円（前年同四半期比6.2%減）となりました。主な完成工事は、鹿児島県 街路工事（東餅田21-1工区）4億18百万円（うち当連結累計期間完成工事高34百万円）、鹿児島県 県単道路整備（交付金）工事（有川22-1工区）3億42百万円（うち当連結累計期間完成工事高1億44百万円）等であります。完成工事高の減少に伴い営業利益は3億60百万円（前年同四半期比10.5%減）となりました。

#### b. コンクリート製品事業

当第2四半期連結累計期間におけるコンクリート製品事業の売上高は、6億77百万円（前年同四半期比8.1%増）となりました。自社製品売上高の減少により営業利益は15百万円（前年同四半期比70.9%減）となりました。

#### c. 不動産賃貸事業

当第2四半期連結累計期間における不動産賃貸事業の売上高は、62百万円（前年同四半期比23.0%減）となりました。売上高の減少により営業利益は28百万円（前年同四半期比17.2%減）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産は106億16百万円で、前連結会計年度末に比し5億26百万円増加しました。主な要因は受取手形・完成工事未収入金等が3億69百万円、未成工事支出金が2億78百万円増加したことによるものであります。

負債は45億11百万円で、前連結会計年度末に比し3億39百万円増加しました。主な要因は長期借入金が1億74百万円減少したものの支払手形・工事未払金等が6億14百万円増加したことによるものであります。

純資産は61億5百万円で、前連結会計年度末に比し1億87百万円増加しました。主な要因は利益剰余金の増加額1億83百万円によるものであります。

#### (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前第2四半期連結累計期間末に比べ5億11百万円増加し、8億90百万円となりました。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金収支は、2億93百万円と前年同四半期に比し4億17百万円の増加となりました。これは未成工事支出金の増減額が2億96百万円増加したものの、税金等調整前四半期純利益2億19百万円の計上に加え、仕入債務の増減額が4億8百万円増加したものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金収支は、マイナス96百万円と前年同四半期に比し3億73百万円の減少となりました。これは関係会社株式の売却による収入が2億円減少、固定資産の売却による収入が1億37百万円減少したことが主な要因であります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金収支は、マイナス1億64百万円と前年同四半期に比し2億18百万円の減少となりました。これは長期借入金の返済による支出が90百万円増加したことが主な要因であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年9月の業績予想につきましては、平成23年11月11日に公表しました「平成23年9月期 決算短信」における業績予想に変更はありません。

業績予想につきましては、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	978,198	1,010,843
受取手形・完成工事未収入金等	1,191,693	1,561,548
販売用不動産	136,329	131,480
未成工事支出金	148,922	427,749
商品及び製品	156,593	122,894
仕掛品	5,596	4,029
材料貯蔵品	37,711	22,747
その他	150,811	120,825
貸倒引当金	△887	△3,742
流動資産合計	2,804,970	3,398,375
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物(純額)	1,325,036	1,293,910
機械、運搬具及び工具器具備品(純額)	279,662	253,271
土地	4,316,018	4,316,018
建設仮勘定	4,259	7,659
有形固定資産合計	5,924,976	5,870,859
無形固定資産	13,019	10,946
投資その他の資産		
投資有価証券	966,322	971,222
その他	645,566	630,552
貸倒引当金	△264,683	△264,993
投資その他の資産合計	1,347,205	1,336,782
固定資産合計	7,285,201	7,218,587
資産合計	10,090,171	10,616,962

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	1,264,340	1,879,152
短期借入金	314,900	362,042
未払法人税等	21,729	14,023
未成工事受入金	343,590	400,254
完成工事補償引当金	5,200	4,200
工事損失引当金	18,300	—
賞与引当金	75,507	26,809
その他	668,784	549,049
流動負債合計	2,712,352	3,235,530
固定負債		
長期借入金	1,381,485	1,206,893
その他	78,602	69,175
固定負債合計	1,460,087	1,276,068
負債合計	4,172,439	4,511,599
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,319,000	1,319,000
資本剰余金	1,278,500	1,278,500
利益剰余金	3,306,362	3,489,393
自己株式	△3,243	△3,243
株主資本合計	5,900,618	6,083,649
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	17,112	21,713
その他の包括利益累計額合計	17,112	21,713
純資産合計	5,917,731	6,105,363
負債純資産合計	10,090,171	10,616,962

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年10月1日 至 平成23年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日)
売上高	3,850,965	3,663,866
売上原価	3,178,505	3,083,356
売上総利益	672,460	580,510
販売費及び一般管理費	383,994	361,981
営業利益	288,465	218,529
営業外収益		
受取利息	138	165
受取配当金	2,215	2,185
受取賃貸料	4,405	4,227
作業くず売却益	7,415	1,303
補助金収入	9,143	8,980
その他	2,974	2,086
営業外収益合計	26,292	18,948
営業外費用		
支払利息	22,224	15,428
その他	2,918	2,040
営業外費用合計	25,142	17,468
経常利益	289,615	220,008
特別利益		
固定資産売却益	20,700	—
関係会社株式売却益	222,629	—
工事損失引当金戻入額	6,139	—
特別利益合計	249,469	—
特別損失		
固定資産除却損	—	160
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	16,709	—
特別損失合計	16,709	160
税金等調整前四半期純利益	522,375	219,848
法人税、住民税及び事業税	10,474	9,244
法人税等調整額	△6,279	△10,376
法人税等合計	4,194	△1,131
少数株主損益調整前四半期純利益	518,180	220,980
四半期純利益	518,180	220,980

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	518,180	220,980
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,923	4,600
その他の包括利益合計	9,923	4,600
四半期包括利益	528,104	225,581
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	528,104	225,581
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年10月1日 至 平成23年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	522,375	219,848
減価償却費	105,715	105,514
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,149	3,164
完成工事補償引当金の増減額 (△は減少)	△1,000	△1,000
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	△14,149	△18,300
賞与引当金の増減額 (△は減少)	42	△48,698
受取利息及び受取配当金	△2,353	△2,351
支払利息	22,224	15,428
有形固定資産除売却損益 (△は益)	△20,700	160
関係会社株式売却損益 (△は益)	△222,629	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	16,709	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△773,912	△369,546
未成工事支出金の増減額 (△は増加)	17,277	△278,827
その他のたな卸資産の増減額 (△は増加)	△22,371	55,080
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△18,528	29,912
仕入債務の増減額 (△は減少)	206,523	614,812
未成工事受入金の増減額 (△は減少)	93,817	56,664
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△6,684	△71,668
その他	15,117	14,556
小計	△83,677	324,749
利息及び配当金の受取額	2,358	2,356
利息の支払額	△22,414	△15,288
法人税等の支払額	△19,836	△18,314
営業活動によるキャッシュ・フロー	△123,570	293,502
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	△20,000	—
有形固定資産の取得による支出	△69,516	△96,522
有形固定資産の売却による収入	137,114	—
関係会社株式の売却による収入	200,122	—
貸付金の回収による収入	29,732	188
その他	106	△17
投資活動によるキャッシュ・フロー	277,559	△96,352
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△540,000	30,000
長期借入れによる収入	700,000	—
長期借入金の返済による支出	△67,140	△157,450
自己株式の取得による支出	△116	—
リース債務の返済による支出	△456	—
配当金の支払額	△37,982	△37,056
財務活動によるキャッシュ・フロー	54,303	△164,506
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	208,292	32,644

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年10月1日 至 平成23年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日)
現金及び現金同等物の期首残高	171,230	858,198
現金及び現金同等物の四半期末残高	379,523	890,843

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

[セグメント情報]

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年10月1日 至平成23年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 3
	建設事業	コンクリート 製品事業	不動産賃貸 事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	3,103,803	626,830	81,645	3,812,280	38,685	—	3,850,965
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	89,435	535	89,971	1,787	△91,759	—
計	3,103,803	716,266	82,181	3,902,251	40,472	△91,759	3,850,965
セグメント利益	402,312	52,983	34,932	490,227	△12,929	△188,832	288,465

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品事業等を含んでおり  
ます。

2. セグメント利益調整額△188,832千円は、セグメント間取引消去△10千円、各報告セグメントに配分し  
ていない全社費用△188,822千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない  
一般管理費等であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 3
	建設事業	コンクリート 製品事業	不動産賃貸 事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	2,911,160	677,664	62,849	3,651,674	12,192	—	3,663,866
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	121,370	655	122,026	1,834	△123,861	—
計	2,911,160	799,035	63,505	3,773,701	14,026	△123,861	3,663,866
セグメント利益	360,140	15,423	28,935	404,499	△2,288	△183,682	218,529

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品事業等を含んでおり  
ます。

2. セグメント利益調整額△183,682千円は、セグメント間取引消去3千円、各報告セグメントに配分し  
ていない全社費用△183,685千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない  
一般管理費等であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度において、セグメント情報におけるセグメント区分は「建設事業」「コンクリート製品  
事業」「不動産賃貸事業」「食品事業」に区分しておりましたが、「食品事業」は重要性がなくなったこ  
とにより「その他」に含めております。

なお、前第2四半期連結累計期間の報告セグメント情報は、変更後の報告セグメントに基づき作成して  
おります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。